

■ 本組立取付説明書は、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
<b>お願い</b>	「必ず行なっていたく事」を示しています。

■ 施工時の **お願い**

住宅防火戸として使用（施工）する場合は、シャッターボックスの裏側に外壁の屋外側の防火被覆又は軒裏の防火被覆（シャッターボックスを軒裏に収める場合）と同等以上の防火性能を有する防火被覆を設けてください。

■ 本製品の明細は以下の通りです。

上枠、下枠、屋根、左縦枠、右縦枠	目板
ビスセット、仕上げ材（MDF）	BFアタッチ
シールテープ（MDFにくくり付け）	BFアタッチ下地材

■ その他の梱包

シャッター本体
本体カバー
ガイドレール

ビスセット明細

組立ビス 4x25バインド（色付）	枠取付ビス 4.1x75丸木
ビスキャップ	目板取付釘 2.1x50
支持板固定ビス 4.1x75丸木（色付）	アタッチ取付ビス 4x10テクス
下枠（上段）取付ビス 4.1x75丸木（色付）	組立取付説明書
水密ワッシャー	

部品セット明細

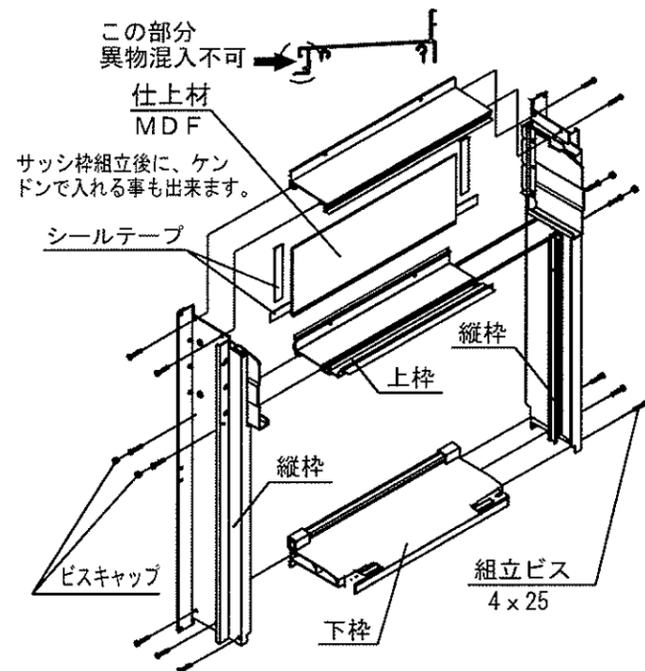
位置決め部品 x2個	位置決め部品取付ビス x4本
シリコンチューブ（信越シリコン：KE45）	

**1 ユニット枠の組立**

同梱のビスセット内のビスで確実に組立ててください。

**お願い**

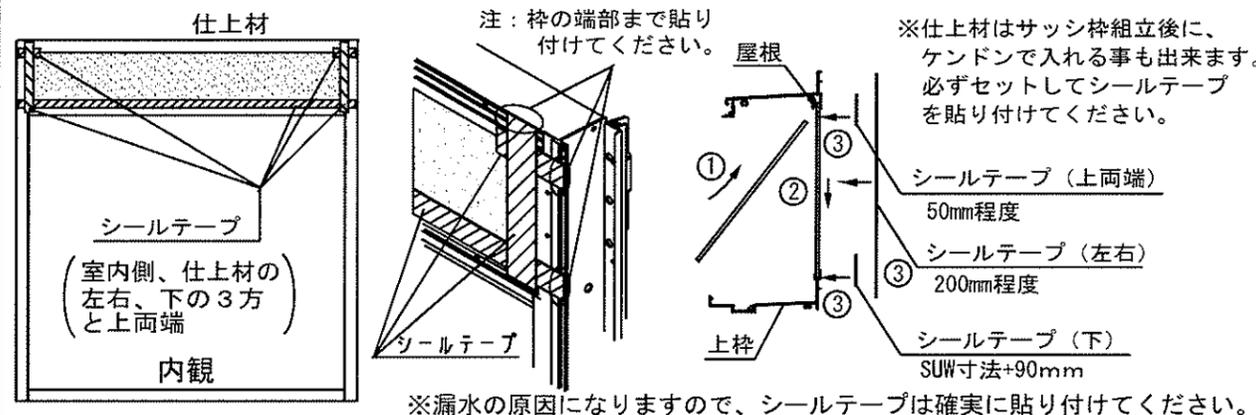
下図の部にモルタルなどが詰まると、本体カバーが取付できなくなる可能性がありますので、注意してください。



**2 シールテープの貼りつけ**

**お願い**

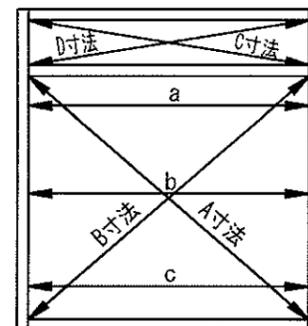
アルミサッシ枠を木枠に取り付ける前に必ず屋根と上枠との間に仕上材をセットして、付属のシールテープを左右、下の3方と上両端に適切な長さに切り、（左右用：200mm程度、下用：SUW寸法+90mm 上両端：50mm程度）サッシ枠の裏側から仕上材とアルミ部材との境目を隠すように貼りつけてください。



**お願い** ビス位置に躯体があるか確認してください。躯体がない場合は取付できません。

枠を仮止めし、下記事項を必ず確認ください。

1. 対角寸法A, B差およびC, D差を、3mm以内にしてください。
2. 下枠の取付は必ず水準器をあて、水平にしてください。
3. 枠の内法巾、a, b, cの差を、1.5mm以内にしてください。

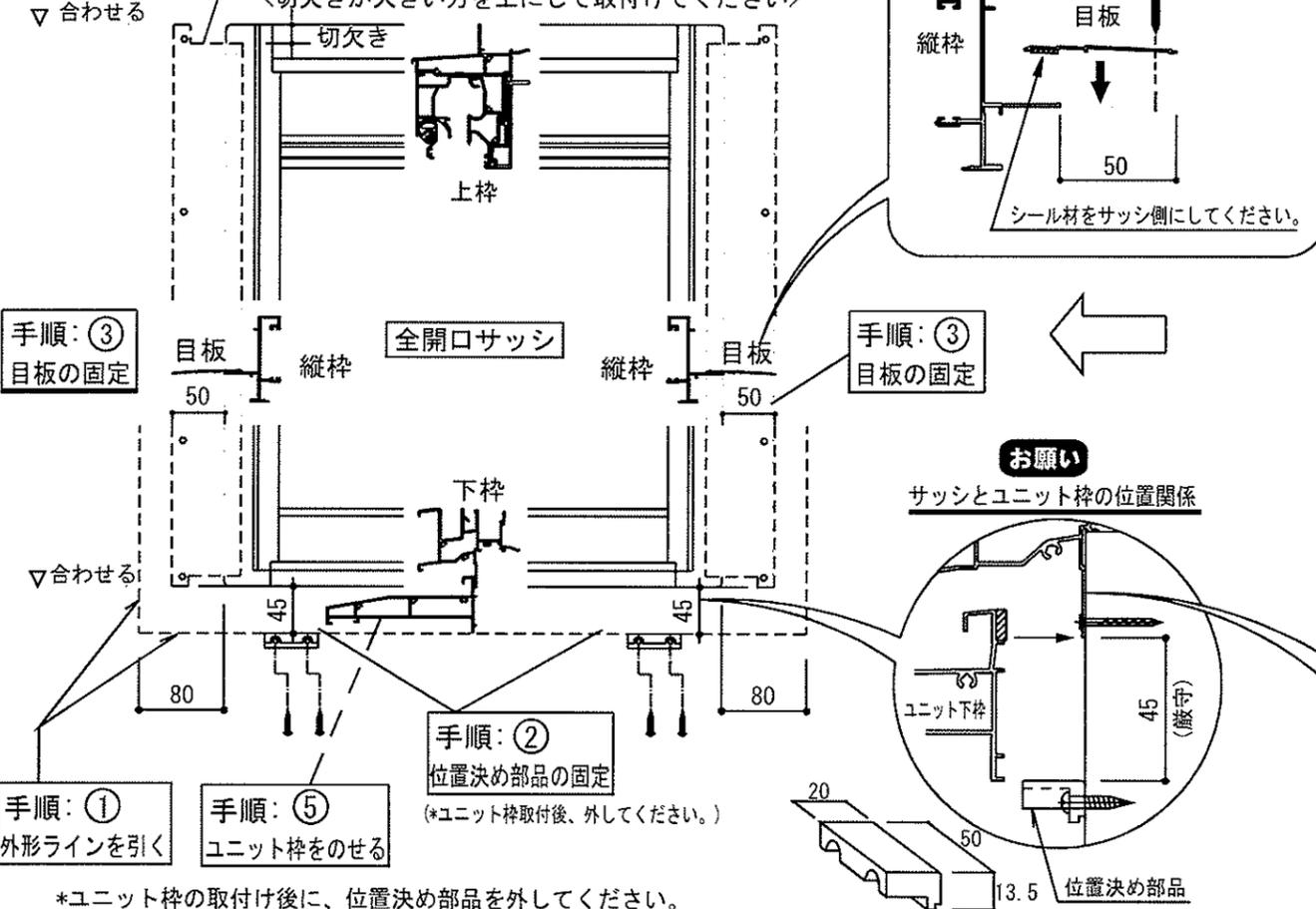


サッシ枠の水平、対角および枠の内法巾が正確に出ていない場合、シャッターの作動不良の原因となりますので特に注意してください。

**3 位置決め部品の取付→目板（室外パネル）の取付→ユニット枠の位置決め（先付けタイプ）**

- 手順 ① ユニット枠の外形ラインを、躯体に引く。（下：45、縦枠：80）…位置決めのため
- 手順 ② 位置決め部品の、全開口サッシ下枠から45mmの位置にビス固定する。（両端）
- 手順 ③ 目板を、全開口サッシ縦枠から50mmの位置に釘固定する。（左右目板）
- 手順 ④ サッシ下枠両端に、コーキング処理をする。
- 手順 ⑤ ユニット枠の下枠を、位置決め部品の上にのせる。
- 手順 ⑥ ユニット枠の左右チリを均等にしてから、ビス止めを行う。（コーナー部4ヶ所）

**お願い** 目板には、左右部材（勝手）があります。切欠きが大きい方を上にして取付けてください。



4 ユニット枠の取付 ① - 1 (先付けタイプ)

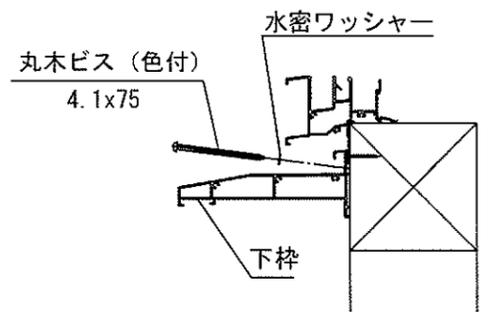
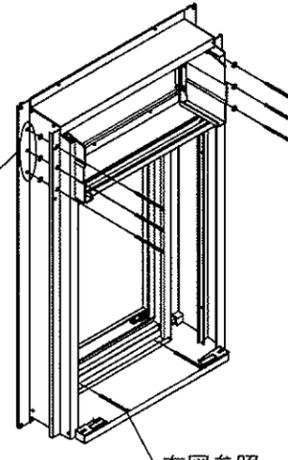
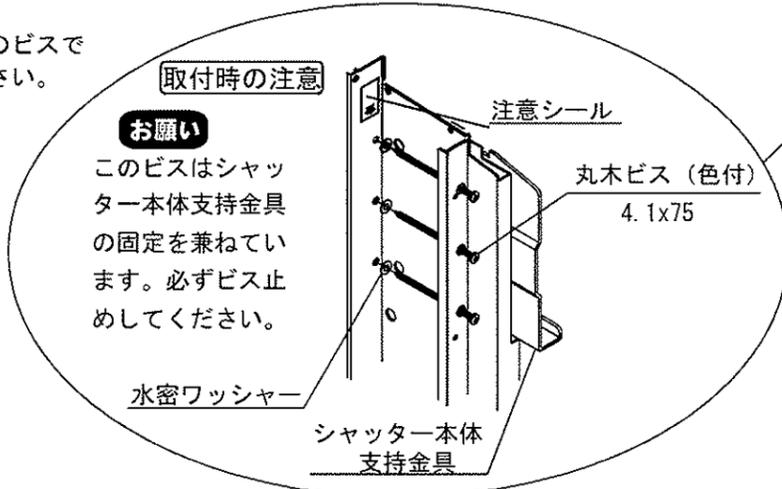
右図の要領で、同梱のビスで確実に取付してください。

※本部位は色付のビスを使用。

取付時の注意

お願い

このビスはシャッター本体支持金具の固定を兼ねています。必ずビス止めしてください。

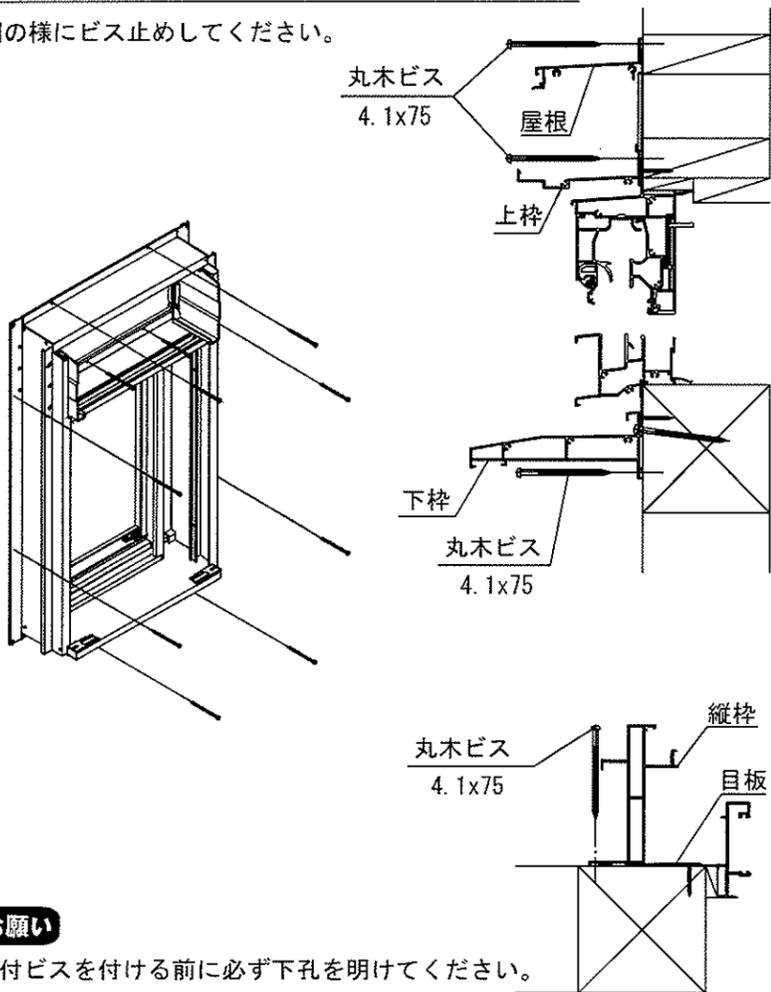


お願い

取付ビスを付ける前に必ず下孔を明けコーキング材を充て込んでください。水密ワッシャーは必ず使用してください。

5 ユニット枠の取付 ① - 2 (先付けタイプ)

右図の様にビス止めしてください。



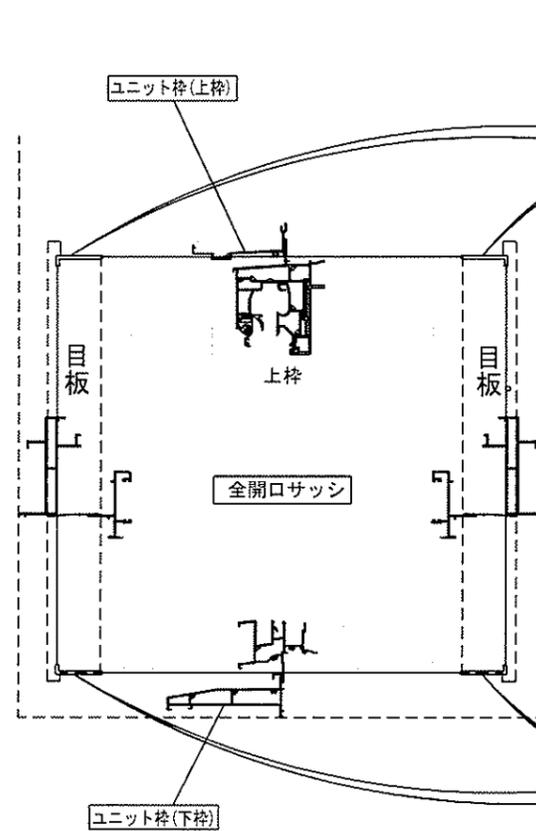
お願い

取付ビスを付ける前に必ず下孔を明けてください。

6 雨仕舞いコーキング (先付けタイプ)

お願い

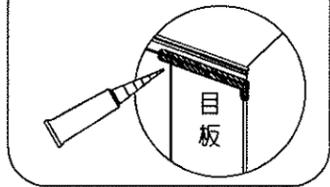
ユニット枠取付後、目板の上下端にコーキングしてください。



目板 上端

お願い

取付後に両端の図示部分にコーキングしてください。

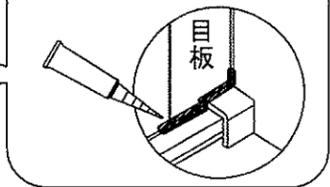


※信越シリコン (KE45) BC-3337が同梱されています。

目板 下端

お願い

取付後に両端の図示部分にコーキングしてください。



※漏水の原因になりますので、確実にコーキングを行ってください。

7 BFアタッチ材の取付

下図の様にBFアタッチとアタッチ下地材を取付してください。

